

アスベスト気中濃度測定の結果について

No.	学校名	煙突箇所	測定日	屋外の数値（本/L）		屋内の数値（本/L）		煙突断熱材劣化状況
				煙突の風上	煙突の風下	灰出口付近	灰出口設置室の隣接室	
1	近文小学校	体育館	H30.6.14	—	—	—	—	著しい劣化 (改修中)
2	向陵小学校	給食室	H30.8.10	—	—	—	—	著しい劣化 (改修中)
3	六合中学校	体育館	H30.6.19	—	—	—	—	著しい劣化 (改修中)

※当該分析法で正確に測定できる最低値(屋外：0.2本/L，
屋内：0.3本/L)未満の場合は、「—」で表示しています。

【参考】

- 環境省の近年のモニタリング結果から、一般大気環境中の総繊維数濃度は概ね1本/L以下であることから、漏洩監視の観点からの目安は、石綿繊維数濃度1本/L以下とすることが適当である。（『建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル2014.6(環境省水・大気環境局大気環境課)』）
- 大気汚染防止法に基づく石綿製品製造工場に対する敷地境界基準：10本/L
- 世界保健機関(WHO)発行の環境保健クライテリア(EHC 53)：「都市における大気中の石綿濃度は、一般に1本以下～10本/Lであり、それを上回る場合もある。」「一般環境においては、一般住民への石綿曝露による中皮腫及び肺がんのリスクは、検出できないほど低い。すなわち、実質的には、石綿のリスクはない。」